

☆READ 2020☆第7弾

先生方によるおススメ本紹介企画



「にほんのかたちをよむ事典」

形の文化会/編者・(株)精興社/発行

日本文化の「かたち」にまつわるあれこれを集めた事典。「かたちの捉え方」「かたちの表現方法」「人とかたちの関わり」の三つの視点から、日本の文化を分析しています。図版も美しく、デザインも秀逸。知っているつもりだったことに新たな発見があると思います。



中学3年学年主任・国語 吉植昭人

「神々の山嶺」

夢枕獏/著・(株)KADOKAWA/発行

孤高の登山家、羽生丈二。死なせたパートナーへの罪障に悩む伝説の男が前人未到の「エベレスト南西壁冬期無酸素単独登頂」に挑む。「なぜ、人は山に登るのか」「なぜ、人は挑戦し続けるのか」永遠の問いに答える長編小説です。



中学3年B組副担任・理科 山田恵子

「カサうしろに振るやつ絶滅しろ！」

氏田雄介/原案・(株)小学館/発行

古代生物や動物をモデルに迷惑行為や古い習慣をキャラ化し、社会から「絶滅してほしい」生物の図鑑「絶滅希望種」と名付け紹介。皆さんが普段何気なくしている行動・考え方がもしかして…マナーや共生について考え、見つめ直すきっかけに是非お読みください。



中学3年アドバイザー・体育科主任 大坐畠尚

「夢をかなえるゾウ4 ガネーシャと死神」

水野敬也/著・(株)文響社/発行

ついにあの『夢をかなえるゾウ』の第4弾が登場。医者に余命を宣告された主人公がガネーシャというゾウの姿をした神様の課題をクリアしていくことで夢をかなえていくという物語。妻と子どもを残したまま先立つことになった主人公の夢は果たして叶うのか？



中学3年C組担任・古川昇

「壁」

阿部公房/著・(株)新潮社/発行

この作品は3つのオムニバスで構成されています。『赤い繭』では繭に、『壁』であれば壁のように主人公が無機質な物へと変身するのですが、これは現実社会の中で何を比喻しているのか、作者が言いたいことは何かを自分なりに考察して読み進めていくと楽しい本です。



中学3年A組担任・数学 伊藤昭文

「猫を棄てる 父親について語るとき」

村上春樹/著・新潮社(株)/発行

うちの奥さんが「ハルキスト」なので読んでみました。タイトルが刺激的ですが、動物虐待の話では決してありません(笑)。自分という存在を模索する青少年には良いものだと思いますが、答えを与えてくれるものではないことを付け加えておきます。



中学3年C組副担任・数学科主任 井上敬康

「ポケットにライ麦を」

アガサ・クリスティー/著・(株)早川書房/発行

名作揃いのクリスティー作品の中でも特にお薦めしたい一冊です。伏線とプロットの上手さは言うまでもなく、冷酷無比な殺人者に挑む、復讐のネメシス(女神)と化したミス・マープルの無類の格好良さ。そして全てが解決した後マープルを待つ最終章の余韻には、何度読んでも泣かされてしまいます。傑作です。



中学3年A組副担任・英語 石田直文

「奈良がわかる絵辞典」

(株)PHP 研究所/編集・発行

皆さんは、京都はよく知っているけれど、奈良は…。知っているのは東大寺…。もちろんそれも素晴らしい。でも、もっと深く奈良を知ることができる本です。写真付きでわかりやすく、その時代にタイムスリップをした感覚を体験できます。おススメは、石造物の謎解き部分。是非この本を読んで行ってみてください。



音楽科講師 山岸洋子

「半沢直樹 「倍返し」の心理学」

内藤誼人/著・(株)廣済堂出版/発行

大ヒットドラマ『半沢直樹』の名言から、自分の心の持ち方などについて学ぶことができます。「自分の仕事にプライドを持ち、達成感を得ている人のことを本当の勝ち組と思うのだと思う。」など、今作も多くの名言が生まれている『半沢直樹』に注目!



中学3年B組担任・地歴 江崎圭祐

「八つ墓村」

横溝正史/著・(株)KADOKAWA/発行

推理小説に興味のなかった私に友人が薦めてくれた一冊。探偵・金田一耕助をはじめ、登場人物の描写が魅力的で時間も忘れ読みふけり、どどどのめり込んでしまいました。映画もおススメです。



家庭科講師・佐藤弘子